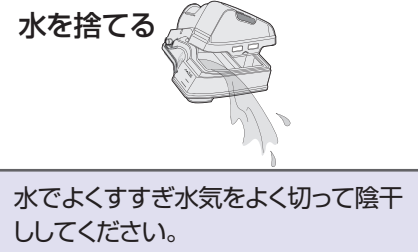
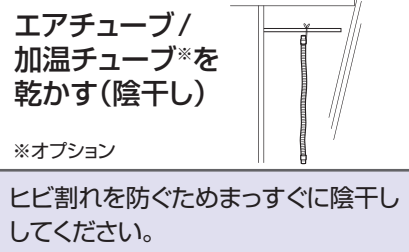


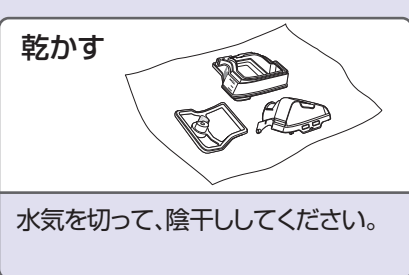
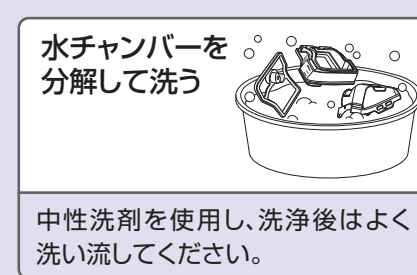
日常のお手入れ

毎日、行ってください

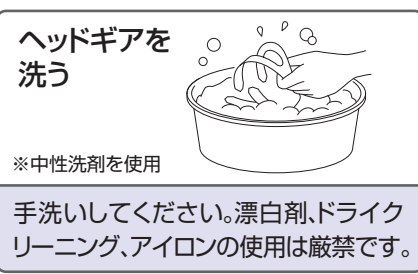
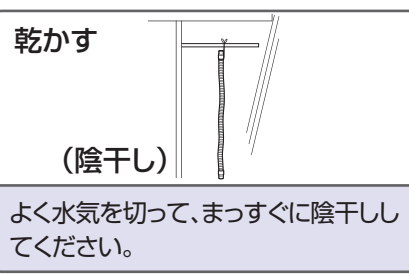


マスクは毎日、あるいは週に一度洗浄して下さい。お手入れは製品によって異なりますので、お使いのマスクの取扱説明書をご参照下さい。

週に一度、行ってください

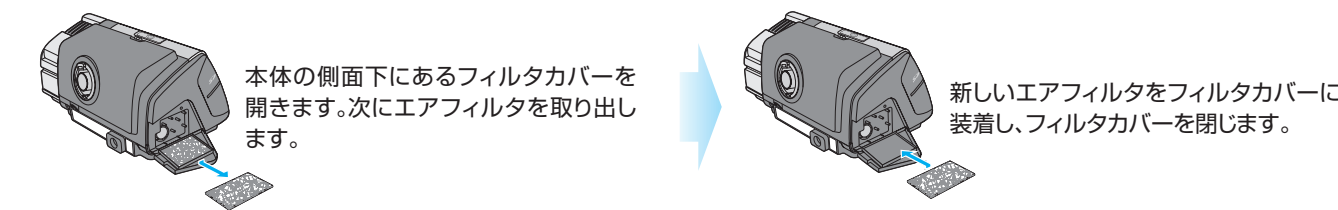


- 注意**
- 水チャンバーの構成部品にひび割れ、濁り、くぼみがある場合は、水チャンバーを交換してください。
 - シール材にひび割れや亀裂がある場合は交換してください。
 - 洗浄・清拭にはアルコール類、漂白剤、塩素を含んだ溶液、芳香族系の溶液、抗菌系洗剤を使用しないでください。
- ※水チャンバー内部に白い粉状の残留物が残る場合は、水で10倍程度に薄めた酢を水チャンバーの注水上限ラインまで入れ、10分間放置した後、水でよく洗い流してください。



エアフィルタの交換

- ※エアフィルタの洗浄および再利用はしないでください。
- ※エアフィルタは6ヶ月ごとに、なお、汚れがひどい時は早めに取り替えてください。



在宅用医療機器の操作に関する動画および操作ガイドを掲載しています。

帝人ファーマ 一般 検索

<https://www.teijin-pharma.co.jp/healthcare/index.html>



二相式気道陽圧ユニット

AirCurve TJ[※] 操作早見表

承認番号：22900BZ100028000
製造販売業者：レスメド株式会社
販売名：レスメド AirCurve 10 CS-A TJ

※「AirCurve TJ」は、「レスメド AirCurve 10 CS-A TJ」の呼称です。

加湿機能
利用

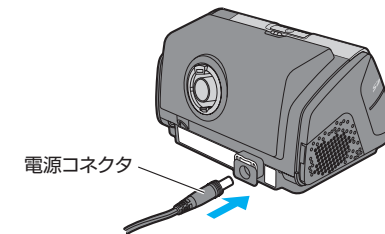
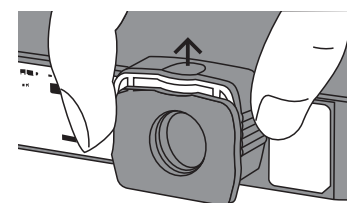


警告

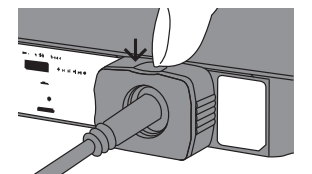
本資材は、取扱説明書の一部を抜粋したものです。
医師の処方および指示に従い、ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

組立と設置

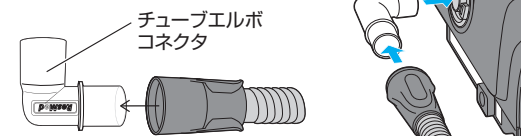
- 1 装置の背面にある電源コードクリップを持ち上げて開き、電源コネクタを接続します



- 2 電源コードクリップを押し下げて固定します

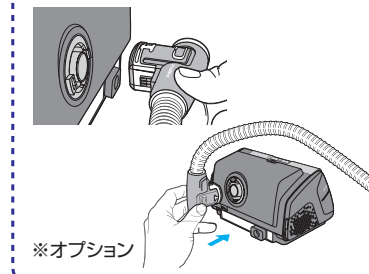


- 3 本体とエアチューブをチューブエルボコネクタを使って接続します

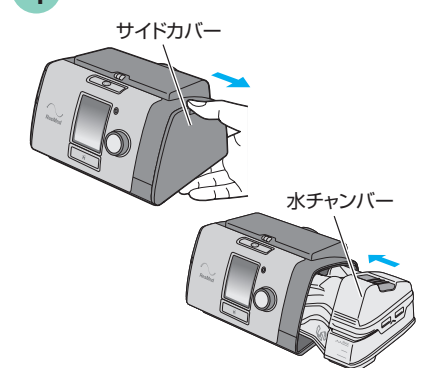


- 注意**
- エアチューブを使用する際は、チューブエルボコネクタを使用して下さい。

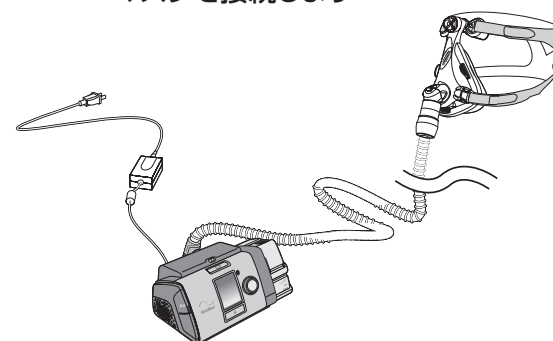
加温チューブ※をご利用の場合は、チューブエルボコネクタは不要です



- 4 水チャンバーを接続します

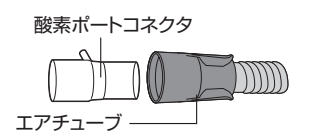


- 5 ACアダプタをコンセントに差し込み、エアチューブとマスクを接続します



酸素供給装置を使用する場合

- ①エアチューブと本体の間に酸素ポートコネクタを接続し、酸素ポートコネクタから酸素を供給します。



警告

●酸素ポートコネクタを、チューブエルボコネクタと本体のチューブ接続口の間に接続しないでください。
酸素が本体内部に流入して火災の原因になります。

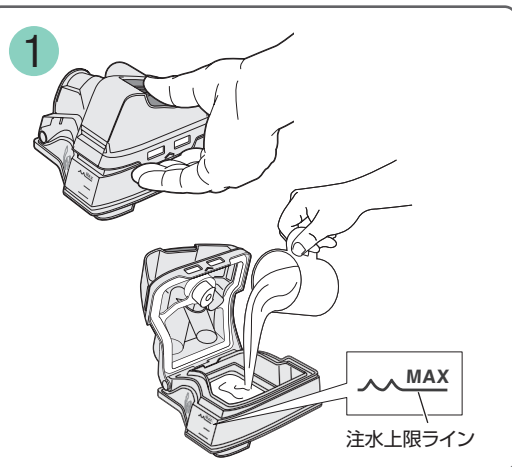
- ②専用の酸素ポート付き加温チューブを使用する。(加温チューブを使用する場合)

設置

就寝する場所の近くに設置します。台を使用する場合は、安定した台を使用し、顔より低い位置に設置します。

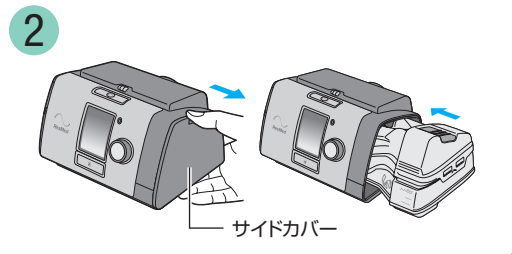
水チャンバーの注水・接続

i ・水道水を使用すると水チャンバー内が白くなることがあります。精製水の使用をおすすめします。



1 水チャンバーに注水します

- 注意**
- ・注水上限ライン以上には水を入れないでください。本体装置内部やエアチューブ等に水が入り、故障・感電の原因になります。
 - ・香水等、水以外のものを入れないでください。



2 水チャンバーを取り付けます

本体側面のサイドカバーを取り外し、水チャンバーを取り付けます。奥までしっかりはめ込みます。

- 注意**
- ・本体装置を持ち運ぶときは、水チャンバー内の水を空にしてください。

※サイドカバーは保管し、水チャンバーを使用しない時は必ずサイドカバーを本体に取り付けて運転してください。

運転の開始と停止

1 マスクを装着します

マスクの装着方法などはマスクの取扱説明書をご確認ください。

2 運転を開始します

スタート/ストップボタンを押して、運転を開始します。

- i** ・スマートスタート機能が有効になっている場合は、マスクを装着した状態で、鼻で呼吸すると、本装置が自動的に運転を開始します。

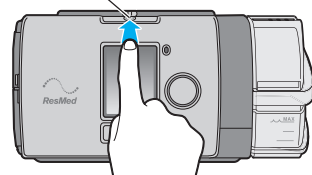
3 運転を停止します

スタート/ストップボタンを押して運転を停止します。

- i** ・スマートスタート機能が有効になっている場合は、マスクを外すと運転は自動的に停止します。

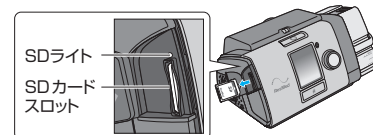
- 注意**
- ・水チャンバーを使用した場合は、使用後 10 分以上おいてから、水チャンバーを取り外してください。やけどのおそれがあります。

スタート/ストップボタン



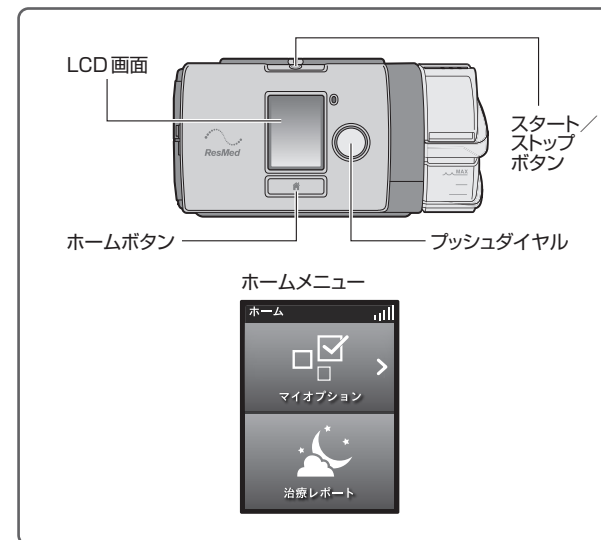
SDカードの取り出し方

運転停止後、SDカードスロット上のSDライトの点滅が消えるまで待ち、SDカードを本体側に押込んで取り外します。



- i** ・SDカードスロット上のSDライトが点滅している間は、データを保存しています。SDライト点滅中に、電源を切るもしくはSDカードを抜き取るとデータが正しく保存されませんのでご注意ください。

液晶画面と操作方法



スタート/ストップボタン
ボタンを押して、運転を開始/停止します。

プッシュダイヤル
回すとメニュー画面が表示され、押すとオプションが選択されます。回すと選択したオプションが調整でき、押すと変更が保存されます。

ホームボタン
押すとホーム画面に戻ります。

〈マイオプション〉

本装置は担当医によって必要な設定が行われますが、治療をより快適にするために患者自身にて少し調整ができる項目があります(加湿レベルなど)。



「マイオプション」を強調表示してプッシュダイヤルを押すと、現在の設定が表示されます。ここからオプションを個別に設定できます。

(「マイオプション」は、医師の設定や接続されている機器により表示項目が異なります。画面イラストはイメージです。)

【アラームについて】



アラームが作動している時、黄色のLEDアラームランプが点滅し、アラーム音が鳴ってLCD画面にメッセージが表示されます。

作動しているアラームの消音



1. プッシュダイヤルを押します。作動中のアラームリストが表示され、LCD画面の右上にアラーム消音アイコンが点滅表示されます。アラームは2分間消音になります。
2. 前の画面に戻るには、OKを強調表示させてプッシュダイヤルを押します。アラームの作動原因となっている条件が修正されると、アラーム音と点滅中のアイコンが停止します。アラームの作動条件が2分経過しても続いている場合、アラームが再度鳴ります。一般的なアラームの対応につきましては、取扱説明書の、「アラームのトラブルシューティング」の項を参照してください。

